

導入期 第5学年前半④	単元名：When is your birthday? Unit-2 (We Can!1) 【7/7 時間】
	主となる指導項目：音声コミュニケーション

本時のねらい

- 相手の好みを聞き取り、相手にふさわしいプレゼントを誕生日カードに書いて送ることができる。

【収録されている活動 (◆:本時のねらいにつながる主となる活動)】

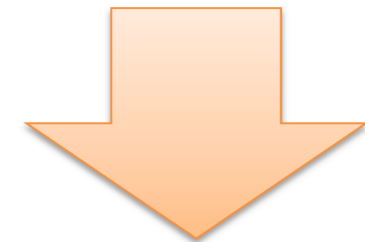
【プレゼントについて話そう】

HRT(ALT)と児童による誕生日に関するやり取りを通して、単元末の活動にイメージを持たせます



【プレゼントについて話そう (Small Talk)】

- ☆本単元のゴールにつながる活動を ALT との会話という形で示し、イメージを全体で共有させる。
- ☆HRTとALTがどのような内容について話していたか、児童に尋ね、会話の内容に注目させる。(HRTとALTのSmall TalkからHRT(ALT)と児童のSmall Talkへ)
- ☆英語で答えられない場合は、クラス全体に広げ、英語につなげていく。



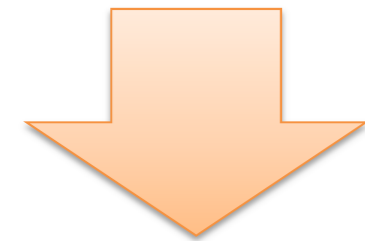
【プレゼントを考えよう】

既習表現を活用し、ALTに喜んでもらえるプレゼントを考え、ペアで好きなもの(こと)を聞き合う活動につなげます



【プレゼントを考えよう】

- ☆ALTへの誕生日プレゼントを考えるという場面を設定し、児童に質問を考えさせ、直接ALTに好きなものや好きなことを尋ねて、みんなで何をプレゼントするか考えさせる。
- ＜質問に使える表現の確認＞
What ○○ do you like? (○○に入る語：color / animal / food / character 等)
※相手に送るプレゼントを考えるためには相手の情報は多いほど考えやすいことを確認する。
- ☆聞き取った情報をもとに、考えたプレゼントをバースデーカードに書き、言葉を添えて渡す一連の場面を見せる(イメージを掴ませる)。



◆【バースデーカードを作成しよう】

好きなもの(こと)についてのやり取りを通し、既習表現を活用して、相手に喜んでもらえるバースデーカードを作成させます



【バースデーカードを作成しよう】

＜バースデーカード作成の手順＞

- ①既習事項の表現を使って、相手の好みをたくさん引き出せることに気付かせる。
 - ・What color (animal / food / character 等) do you like?
 - ※相手に、何が欲しいか直接的な質問はしないことを、活動に入る前に確認しておく。
 - ※相手に気に入ってもらえるプレゼントを考えるためには、相手の情報は多いほど考えやすいことを踏まえて、相手に質問する時間を十分(3分間程度)に確保し、じっくりと質問ができるようにする。
- ②知り得た情報をもとに、プレゼントを決定させる。
- ③バースデーカードを作成(プレゼントの絵を描かせる)させる。
 - ※相手に質問をして得た情報から、プレゼントを考えて描いたり、メッセージを書き添えたりする時間を設定する。短い場合は、時間を延長する。
- ④バースデーカードが完成したら、言葉を添えてペアに渡させる。
 - ※渡すときの表現例(○○にはペアの名前、～には聞き取った情報)
“Happy birthday, ○○. You like ~and ~. This is for you.”
(もらった方の応答) “Thank you. It is nice.” 等

* あいさつ・振り返り等は省略しています